

萩の玉川について

萩の玉川は、歴史に残るものとして江戸時代から大切に保存されて来ました。萩の玉川は実際のところを残しておくために実現、再現したものです。



• 玉川の由来とは？

- 昔、聖徳太子が馬に乗って地方へ出かけるときがありました。馬に水を飲ませなければいけない聖徳太子は水を求め、篠原をかき分けて探すと、清らかな水が湧き出ていました。それが玉のように綺麗だ、ということから「玉川」という名前がつくことになりました。



萩の玉川



昔の玉川

昔、玉川は、今の玉川ハイツというところの近くにあった。その後、残すのため玉川の場所が変わり、今の玉川の場所になった。

玉川の発祥

玉川は、昔仏教の布教のために滋賀に来た聖徳太子が馬に水を飲ませるために地面を掘ると、玉水のような水が出てきたことから、萩の玉川と言われるようになった。

六玉川

東京、京都、大阪、和歌山、宮城の六つの玉川がある

後ろのお社

後ろのお社は、昔水害により亡くなった人たちを弔うために作られた。